

有限会社 カネショウ工業

仕事があるありがたさ、 仕事ができるありがたさを強く感じた

予想をはるかに 超える状況

3月11日午後3時39分。カネショウ工業の工場が津波に襲われた。その瞬間、時間が止まった。

同社は宮城県気仙沼市の漁港から1kmのところまで主に建築業、水産業、医療業界向けに鉄及びステンレス、アルミ等の部品加工、溶接、組み立てを行ってきた。地震直後、同社代表取締役社長小野寺淑氏は、会社から30分余り離れたところにおり、渋滞が予想された国道を避け、裏道を通ってどうにか会社に戻った。会社には、小野寺氏の夫人と従業員がいて、津波警報が発せられると同時に自宅待機を判断した。会社の戸締りを確認した小野寺氏は、会社から2km離れた自宅に戻るが、ちょうど自宅に到着した同時刻、4mの津波が工場を襲ったと思われる。

自宅での待機を強いられる状況となった小野寺氏だが、ただ事ではない状況を察し自宅から工場のある場所を遠望すると、これまで見たことのない光景が目飛び込んできた。空が赤く燃え、炎も確認した。停電により情報網は途絶え、小野寺氏はラジオだけを頼りに、暗くて寒い不安な日を過ごした。

震災から3日経過した日、小野寺氏は震災後初めて工場を訪れた。周辺の建物や歩道橋、車は焼け焦げていた。津波の被害により建物の原形を留めていない近所の工場。また、あるはずのない場所に船が横たわっていた。カネショウ工業も津波で流されてきた瓦礫の山に工場が埋もれ、設備もすべて浸水し使い物にならず、建屋にはくっつき津波の襲った後が残されていた。

数ヶ月経過した今も、焼けたされた自動車や建物、津波により流されてきた船は、震災直後の状態を留めている。

仕事に対する不安

震災直後、工場が瓦礫に埋もれ、設備が塩水に浸り稼働が困難な状況の中でも、客先からの問い合わせの携帯電話が鳴り響き、復旧の目処が経たない不安と仕事なくなるのではという不安が一気に押し寄せた。しかしそのことが一日も早い復旧を後押しすることにもなり、結果カネショウ工業にしかできない仕事や既存の客先から注文を頂く。また突発的な仕事の依頼も数多く来る中で、その仕事のカネショウ工業できなくても、また忙しくても、とにかく客先に伺い、相談事を聞き解決する姿勢を徹底して行った。

「断ってしまえば、そこですべてが終わる。誠意を見せることで、次に何かあった時に、また相談していただける」と、小野寺氏は思った。仕事があるありがたさ、仕事ができるありがたさを震災後深く感じたと言う。



工場の向かいには、今も瓦礫の風景が広がる



気仙沼湾から2km以上流されてきた船が今も住宅街の傍に残る



工場内のようす

地域復興の近道は 雇用を生むこと

市民の8割が被災した気仙沼。地域の復興にはかなりの時間を要するが、復興の一番の近道は、まずは中小企業を助けて雇用の場を生み出し、従業員とその家族の生活基盤を安定させることだと小野寺氏は考えている。

「うちの会社自体は決して大きくはないが、一日も早く工場を正常に稼働させ、気仙沼の雇用に寄与したい。そのためにも国の支援策として考えてもらいたいのが、被災した企業がスタート地点に立つための運転資金の援助。少なくとも震災が起きる前の状況に戻さないと前に進むことができない。今はマ

イナス。マイナスから0までの運転資金について、国から支援策を打ち出してほしい」

気仙沼の鉄鋼組合でも8割が被災しているが、その多くの企業は復興したいと願っている。しかしその願いが叶うまでには5年かかると言われており、現状ではその方向性を示してもらえておらず、前に進めない状況が続いている。

モノづくりが 好きなんだと 改めて実感する

少しずつではあるがカネショウ工業に設備が導入され、ようやく6月に電気も通いはじめた。まだまだ震災前の状態に戻るま

では時間を要するものの現場が稼働し始めた。

まだ同社の稼働率は震災前と比較し10～20%に過ぎない。しかし今、「お客様から頂いている仕事に全力を尽くしたい」と、真剣な眼差しで小野寺氏は語る。震災直後から止まっていた時間がようやく動き出した。「今回の震災では約3ヵ月余り工場が停止していたが、徐々に現場が動いている様子を見て、やっぱり自分はモノづくりが好きなんだと改めて実感した」。

震災後、一日も早い工場稼働に向けて瓦礫の撤去や掃除に邁進してきた小野寺氏と従業員。カネショウ工業はようやくスタート地点に立つことができた。

今後も震災前のあの美しい気仙沼を思い出し、また震災から今日までの辛い日々を忘れずに気仙沼の復興という目標を掲げながら、今後も客先から頂く仕事をひとつひとつ丁寧に対応していく。



震災直後のカネショウ工業の建物

津波に襲われた、午後3時39分で止まったままの時計



NCネットワークを通して提供された設備



小野寺社長

Company Profile

- 会社名：有限会社カネショウ工業
- 代表者：代表取締役社長 小野寺淑氏
- 所在地：宮城県気仙沼市中みなと町140番地
- TEL：0226-22-3569 / FAX：0226-22-4817
- 創業：1977年12月21日
- 資本金：800万円
- 従業員：10名
- 業務内容：ステンレスの加工、仕上げ 建築物、産業機械、医療機器、厨房機器 産業機械の製作メンテナンス 鋼構造物工事